



ロータリーは
分かちあいの心

国際ロータリー第2630地区

高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2007～2008年度 高山中央RC会長テーマ

第733回「**りく りょく きょう しん** 戮 力 協 心」 H19・11・5

〈点 鐘〉会長 松之木 映一さん
 〈ソング〉それでこそロータリー
 〈四つのテスト〉会長 松之木 映一さん
 〈出席報告〉
 本日の出席…38名 出席率…85.71%
 前々回の補正…37名 出席率…88.71%

〈ゲスト紹介〉
 国際ロータリー第2630地区
 ロータリー財団奨学金委員長 桑月 心様
 (高山RC)

〈ビジター紹介〉
 高山西ロータリークラブ 井辺 一章様

〈会長の時間〉松之木 映一さん
 皆様今日は、日本の文化の一つであります浄瑠璃と文楽
 についてのお話をさせていただきます。文楽といえますと
 操り人形浄瑠璃芝居を称していいです。私と文楽との出会
 いは35～36年前に大阪道頓堀を探索中に朝日屋で見た人
 形芝居でした。専任文句につられ入りたかか人形芝居と思
 っていたものが最後には大変感動したという記憶が残って
 います

浄瑠璃といえますと三味線伴奏の語り物音楽の一つです
 が室町時代に始まり、初めは無伴奏(琵琶や扇拍手)で語
 られた「浄瑠璃姫物語」が広まり、他の物語と同じ様式を
 語るものを浄瑠璃と呼ぶに至りました。江戸時代の直前に
 三味線が伴奏楽器として定着し、同じころ人形芝居と後
 には歌舞伎と結合して上方江戸でも庶民的娯楽として大い
 に流行するようになりました。この頃多くの浄瑠璃太夫が輩
 出し全平節、播磨節、嘉太夫節、義太夫節など数十種の流
 派が次々と派生しました。

中でも元禄時代竹本義太夫・近松門左衛門らによる人形
 浄瑠璃の義太夫節が代表的な存在となり、浄瑠璃の称は義
 太夫節の異名となっています。しかしこの人形浄瑠璃も
 徐々に忘れられていったのですが18世紀末に浪路出身の
 素人浄瑠璃語りの植村文楽軒が大阪道頓堀高津新地に創設
 し、転々としたのち1872年に松島に移り文楽座と称し
 1909年(明治42年)松竹合名会社をつくり経営し、1956
 年道頓堀に新築移転し1963年文楽協会が運営を引き継ぎ
 朝日座と改称しましたが1984年国立文楽劇場(東京都千
 代田区)発足により閉座されました。

世の中には操る人、操られる人、曰三味線を弾く人、あ
 るいは何もしないで見ていた人々といふ人々といふ人々

すが、人間が人形を操る人形劇が、三味線伴奏語りて人形
 に魂が乗り移ったような感覚の動作に観客の涙を誘う人形
 浄瑠璃は、別の世界のようで、これも日本の伝統文化の一
 つだと、改めて感じさせられました。以上会長の時間を終
 ります。

〈本日のプログラム〉
 ロータリー財団委員長 永井 信次さん
 今月はロータリー財団月曜という事で、本日は国際ロー
 タリー第2630地区ロータリー財団奨学金委員長でいらっ
 しゃいます皆様よくご存知の桑月 心様をお迎えしての例
 会です。

ロータリー財団につきましては、海外留学のための奨学
 金を支給したり、ポリオプラスに貢献している事は認識し
 ていますが、その他にも人道的プロジェクトによる色々な
 補助金制度、GSE(研究グループ交換)シェアシステムそ
 して寄付金のやり方など中々複雑にして分かりにくいもの
 になっています。今日はそのあたりをお話を聞く中で理解
 を深めていきたいと存じますのでよろしくお願ひします。
 ちなみに桑月様におかれましては、次年度ガバナー・ミ
 ニーに就任されたという事です。
 誠におめでとうございます。

〈ゲスト紹介〉
 国際ロータリー第2630地区
 ロータリー財団奨学金委員長 桑月 心様



ロータリー財団の創設者はRI会長代理のアーチ・クラ
 ンア氏であることはよく知られています。1869年ペンシ
 ルバニア州の貧しい家庭に生まれたアーチは子どものとき
 オハイオ州クリーブランドへ引っ越ししました。家計を助け
 るために学校を12才で退学し、働きに出ました。しかし、

創 立 1991年5月20日

- ◆例会日 / 毎週月曜日・PM12:30～
- ◆例会場 / ひだホテルプラザ3F・☎(0577) 33-4600
- ◆事務局 / 高山市花園町1-15 丸越商事4F
 / ☎(0577) 36-0730/FAX(0577) 36-1488
 / E-MAIL: jrl@1 http://www17.ocn.ne.jp/~t-c-rc/
- ◆会 長 / 松之木 映一 ◆幹 事/永家 阿剛

四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
- 1 真実か どうか
 - 2 みんなに公平か
 - 3 好意と友情を深めるか
 - 4 みんなのためになるか どうか

勉強をしたく、やがて夜間学校へ入学し、ときには電車賃をうかすため片道数キロを歩きました。16才で木材会社に就職しました。そこで頭角をおらわし、やがてその木材会社のマネージャー、後には社長に、最後はオーナーにまで上り詰めたのです。大変な努力家でフルートを独学でマスターし、クリーブランド交響楽団に15年近く在籍した後アーチは1911年にクリーブランドRCのチャーターメンバーとなりました。それからの活躍はすさまじく1913年にクラブ会長、翌年1914年にRIの理事に選ばれ、2年後にRI会長になるのです。R財団の父という点ばかりが脚光をあびますが、RIの理事時代に現在の地区制度、地区ガバナー制度、地区大会を創案した人であり、さらにはロータリー標準クラブ定款・細則の立案者であることは協調されるべきです。当時の時代背景を考えるとロータリークラブができてから10年がたち、あちこち無秩序に共通のルールなしに新しいクラブがどんどん設立されていく時代でありました。新しい規則の作成が急務となり、ロータリー定款・細則のおかげで新しいクラブをつくる共通の基準ができたのです。

1916年にRI会長に就任したアーチは1917年の有名なアトランタ国際大会でロータリー基金の構想を語りました。「世界になにか善いことをする目的でロータリー基金をつくり、世界的な規模で慈善、教育、その他社会的な発展をうながす分野、あるいはロータリークラブの発展のために寄付金を受けるのは善いことのように思われる。」と述べました。1928年のミネアポリス国際大会でこの基金はロータリー財団と呼ばれるようになりました。また、1916年に米国が参戦した第一次世界大戦、1929年の金融大恐慌などの事情によりそれからの財団の発展は非常に遅く、第二次世界大戦の終戦をまわって、1947年ポール・ハリスの逝去が財団の転換点となったのであります。世界中のロータリアンからお金が寄せられ、ポール・ハリス記念基金が設立され、ロータリー財団の経済的基盤が初めて確立されました。そして先の大戦による世界的なカオス・無秩序への反省から真の世界平和、国際理解・国際親善のためのロータリー財団最初のプログラム高等研究奨励学金が実現し、後の国際親善奨励学金制度となりました。

ロータリー財団とは一言でいえば「国際理解と世界平和を実現するために人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、国際ロータリーが取り組む種々の事業を支援する非営利団体です。そしてよりよい世界を作ろうとする夢を分かちあうロータリアンの寄付によってのみ支えられています。」と定義されます。その目的は何かといえは、「ロータリー財団は主に発展途上国において生活の質を高めるために、健康を守るため、きれいな水、食べ物を提供するために、教育水準をあげるために、そしてその他必要なものために国際ロータリーが遂行するプログラムの燃料の働きをします。」つまり、車を動かすガソリンの役割をします。奉仕の理想を具現化するためのいろいろな具体的なプログラムの補助をします。ところがいつの間にか財団の規模が大きくなり、国際ロータリーと平行させて、ロータリー財団と国際ロータリーは奉仕の理念という馬車を引く二頭の馬といひ、ロータリー財団こそロータリーだという人がでてきます。ロータリー財団の財政規模は国際ロータリーの数倍に増大しており、また伊達PGは本来財団は国際ロータリーのロータリー財団ということばのとおり国際ロータリーの一部であり、含まれることです。

第2630地区が関わっている財団プログラムは大きく分けて2つあります。人道的プログラムと教育的プログラムです。人道的プログラムには地区補助金とマッチング・ク

ラントがあります。地区補助金は一件30万円が支給されます。昨年度(06-07年度)は総額30,000ドルに対して申請があったのは22,550ドル(75%)で残念です。今年も30,000ドルのわくに対して10月末段階で4クラブ10,500ドルしか申請がありません。今年度は予定がたたないのなら来期には是非応募してお金を使って欲しいというのが地区財団委員会の願いです。マッチング・グラントは額が大きいだけに手続きと報告義務などがきびしいのですが、当地区では桑名北クラブがうけています。教育的プログラムは国際親善奨励学生と世界平和フェローの二つがあります。優秀な学生、大卒の社会人で語学力のる方をご存知でしたらぜひ応募をすすめてください。国際親善奨励学金は来期24,000ドル(今期23,000ドル)、世界平和フェローは2年で50,000ドルです。募費用ポスターを近く80クラブすべてに配布し、地区大会に専任用のパネルを出します。

次はロータリー財団への寄付と寄付金の行方についてお話しします。寄付は大きく分けて1.年次寄付 2.恒久基金寄付 3.使途指定寄付の3種類があります。私たちに身近なのは1と2です。

1.年次寄付とはいわゆるクラブとして財団に毎年「すべてのロータリアンが100ドルを毎年寄付しよう」というスローガンで毎年ガバナー補佐から次期会長にクラブの寄付目標を提出するようも定められる寄付金のことです。この寄付金はロータリー財団(TRF)に3年間運用されます。3年たったらその年次寄付金の50%+α(運用益)が地区活動資金(DDF)として①人道的分野(地区補助金、マッチング・グラント)②教育的分野(国際親善奨励学金、世界平和フェロー)に使ってよいことになっています。ポール・ハリスフェローはこの中に入ります。このDDFが多い年つまり3年前に寄付金が多かった年は奨励学生の人数が多く、数年前まで第2630地区では多い年に15人~18人ほど募集しました。現在は年間5人です。また、人道的分野の地区補助金はその年のDDFの20%を上限とするという規定があり、先ほど指摘したとおり昨年と今年でそれぞれ30,000ドルくらいです。

2.恒久基金寄付とはベネファクター等としての寄付金です。これは地区に還付されないで永久にすべてを基金としてTRFで積み立てられます。ただし、TRFでは常にこれを投資し、利益をあげています。ロータリー財団の人件費やその他プログラムにかかる諸経費はこの投資収益からでています。ちなみに05-06年度の恒久基金の投資収益は1,160万ドルです。年次寄付とあわせて投資収益は10年間で年平均3,500万ドルであります。この還付金制度「シニア・システム」を考え出した人は非常に賢い人で、ロータリアンが財団に寄付したお金の一部が一定の期間運用された後に還付金として世のため人のためのプログラムに使われるのです。還付されない残りの寄付金は国際財団活動資金(WF)とよばれ、マッチング・グラントの財団が負担する分の資金などにあてられます。



お詫び 紙面の都合ニコニコは次会号に掲載させて頂き
ます。(金報委員会 大塚 正博)